こどもまんなか こども家庭庁

こどもの居場所の現状を把握するための調査方法についての調査研究

成育局 成育環境課

調査の背景

「こどもの居場所づくりに関する指針」（令和５年12月22日閣議決定）に基づき、自治体は地域の実情に応じた居場所づくりを支援する必要があるが、現状では調査項目や方法が確立されておらず、実態把握が困難な状況にあり、具体的な施策に繋がっていないことが考えられる。

目的

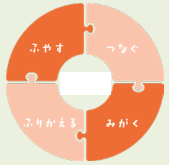
こどもの視点から居場所の実態を把握し、自治体が効率的かつ網羅的に調査を実施できる「調査パッケージ」を作成・提供することを目指す。

これにより、自治体が「目的としての居場所」だけでなく「結果としての居場所」も含めた情報収集を可能にし、居場所づくりの課題解決を支援する。

調査の内容

こどもの居場所の実態を把握するために、地域社会のどこに目を向ければ良いか、今後自治体等が調査を実施する際に参考となる調査手法等を示していく。さらに、自治体等が調査を実施する際に地域の実情に応じて活用することが可能な、調査票案等を含む調査パッケージを作成し、居場所の実態を可視化できるツールを提示する。

【調査パッケージ(案)の内容】
- 居場所リスト
- 調査票
- 調査ガイド
- とりまとめツール



調査ステップ

- **STEP1**：居場所となりうる場のリストアップ
- **STEP2**：こどもに関わる大人への調査
- **STEP3**：現地調査
- **STEP4**：こどもへの調査

目指す方向性と効果

調査パッケージにより、居場所に係る地域の実情やこども・若者のニーズを把握でき、各自治体での居場所づくりがより一層推進されることを目指す。また、全国的に居場所の実態把握が可能になることで、居場所づくりの進捗評価や「こどもの居場所づくりに関する指針」の改定に関する検討にも生かすことができると期待される。